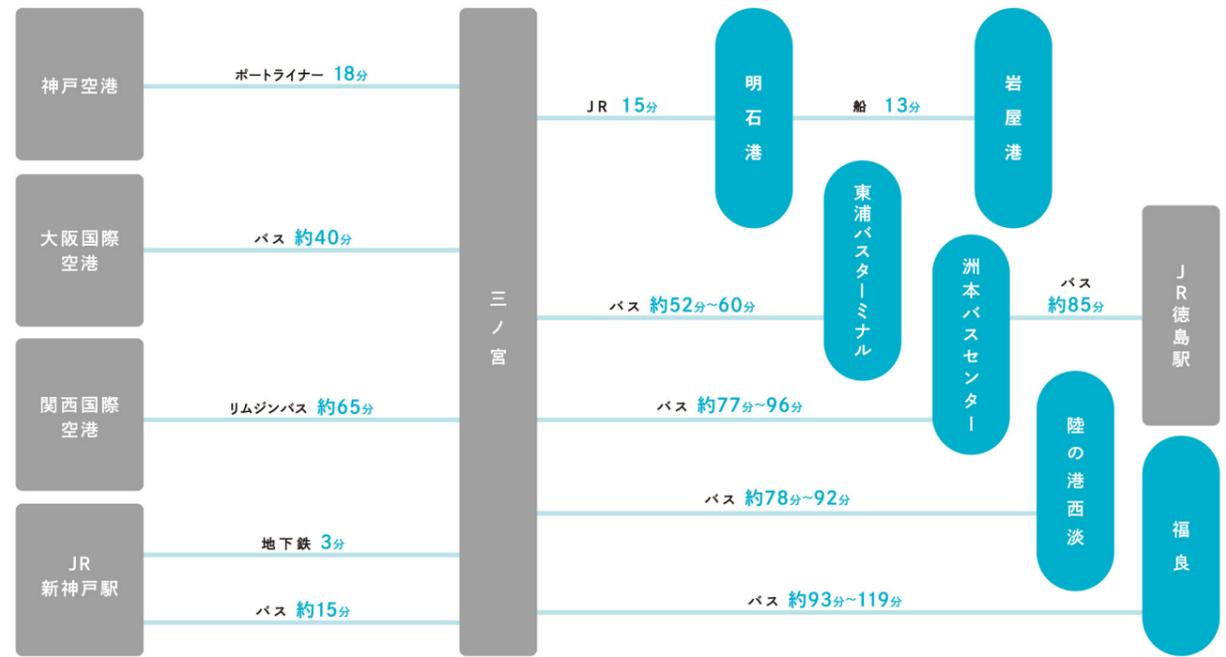
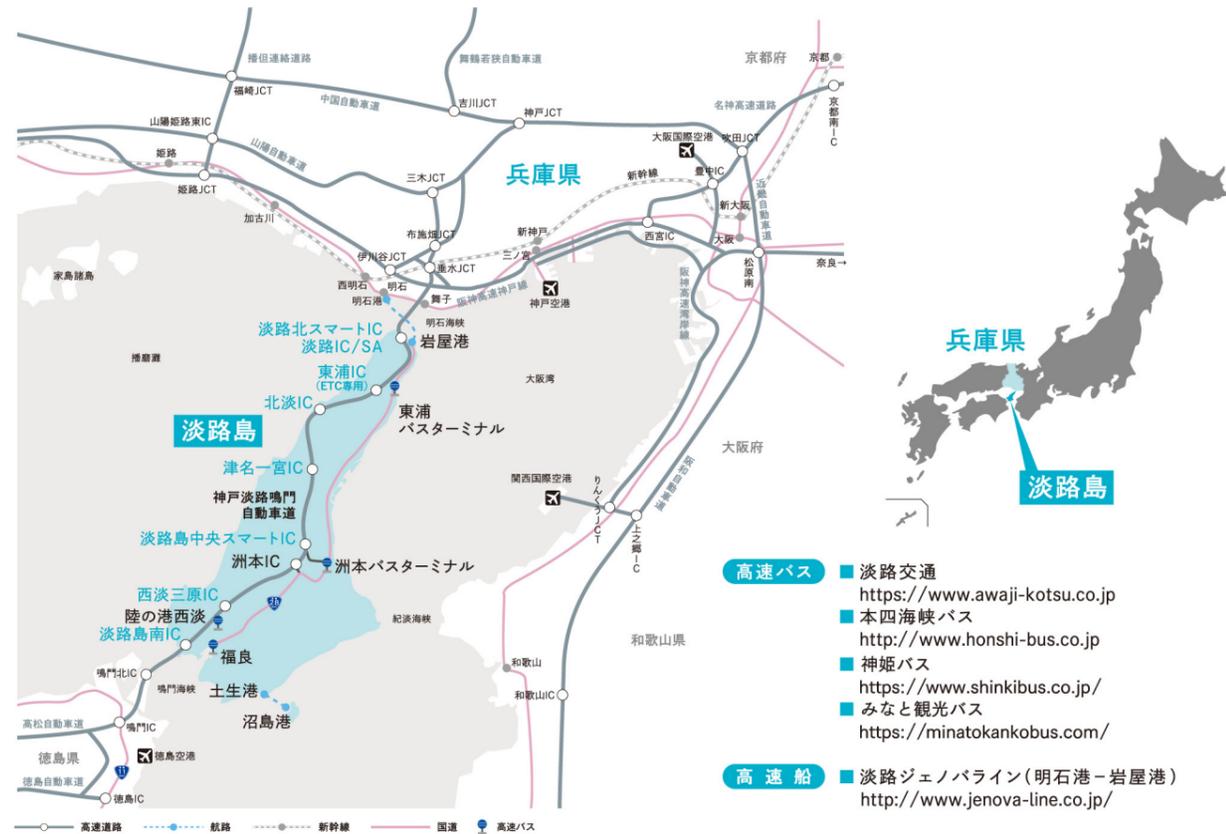


# Access



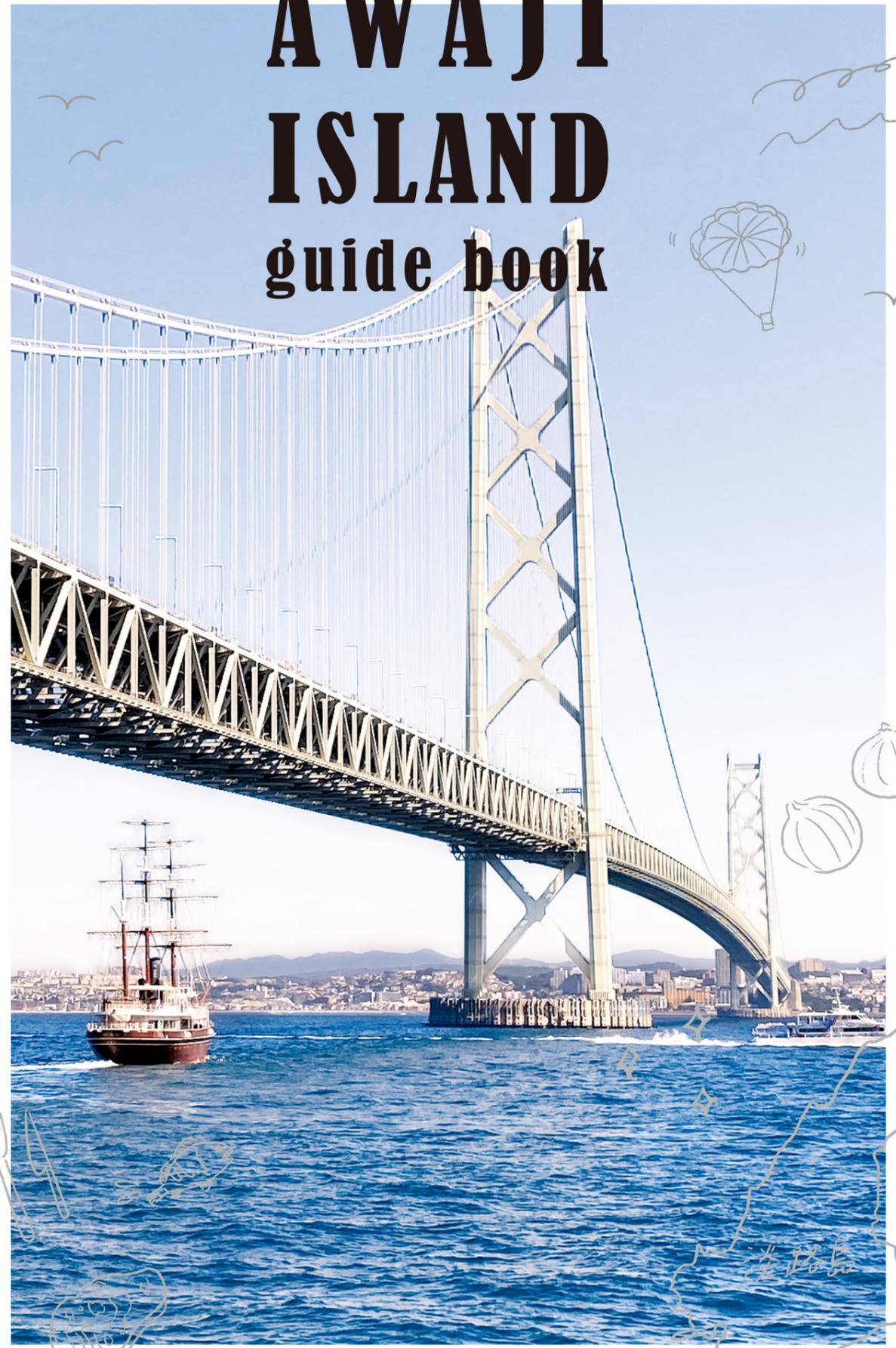
注:バスの運行所要時間は、運行時間帯・運行ルート・途中停車バス停等の違いにより異なります。

発行  一般社団法人 **淡路島観光協会** 〒656-0027 兵庫県洲本市港2-26 洲本市健康福祉館1F  
Awaji-island Tourist Association

| TEL | 0799-22-0742 | FAX | 0799-24-4470 | E-mail | awajishima-kankou@awaji-kankou.or.jp

詳しい情報はここからアクセス!  **あわじナビ**  ■淡路島観光ガイド・あわじナビ <https://www.awajishima-kanko.jp/>

# AWAJI ISLAND guide book



# はじまりの島

淡路島は、東経135°上に位置する瀬戸内海最大の島。南北は約55km、東西約28km、周囲約216kmで、島の面積 約596km<sup>2</sup>は、グアム島と同じぐらいの大きさです。

北端には、世界最大級の吊り橋『明石海峡大橋』が架かり神戸市と繋がっています。

また南西端と四国の間にある鳴門海峡では、世界最大といわれる「うずしお」を見ることができます。

気候は、比較的温暖で晴れの日が多く、降雨量は全国平均に比べると少ないのが特徴です。

古来朝廷に食材を納めていた『御食国』のひとつで、<sup>みけつくに</sup>

今も山海の幸に恵まれており、農業、漁業、畜産業などが盛んで、淡路島たまねぎや淡路島3年とらふぐ、淡路ビーフなどが特に有名です。

日本最古の書物『古事記』には、伊弉諾尊と伊弉冉尊の二柱の神による<sup>いざなぎのみこと いざなみのみこと</sup>国土創生の「国生み神話」が描かれており、

その中で日本で最初に生み出された島が淡路島とされています。

島内には約500年の歴史を持つ淡路人形浄瑠璃などの伝統芸能や、独特の習俗などが今も多く残されています。



# 1 神話・日本遺産



## 日本遺産“『古事記』の冒頭を飾る「国生みの島・淡路」”

いざなぎのみこと いざなみのみこと  
 遠い遠い昔、伊弉諾尊、伊弉冉尊の二柱の神が天上から「天の沼矛」で大海原をかき回したところ、矛先から滴り落ちた雫が凝り固まって「おのころ島」ができました。二柱の神はそこに降り立ち、夫婦の契りを結んで誕生したのが、日本で最初に生まれた島「淡路島」だと伝えられています。その背景にある、新たな時代の幕開けを告げる金属器文化をもたらし、後に塩づくりや巧みな航海術で王権や都の暮らしを支えた「海人」と呼ばれる海の民の存在と、歴史を今に伝える島というストーリーをまとめ、2016年に“『古事記』の冒頭を飾る「国生みの島・淡路」～古代国家を支えた海人の営み～”として日本遺産に認定されました。

■ <http://kuniomi-awaji.jp/>



自凝島神社 【おのころじまじんじや】

神代の国土創生の際に、伊弉諾尊と伊弉冉尊が、天の沼矛を持って海原をかき回し、引き上げると矛から滴る雫が固まってできたのが「おのころ島」です。二柱は、ここに降り立られ、まず淡路島をつくり、次々と島をつくられました。自凝島神社は「おのころ島」伝承地の一つで、高さ21.7mの朱塗りの大鳥居が目を引きまします。

■ 南あわじ市榎列下幡多415 TEL.0799-42-5320  
<https://www.freedom.ne.jp/onokoro/>



伊弉諾神宮 【いざなぎじんぐう】

日本書紀にも書かれている日本最古の神社で、淡路市多賀に鎮座し、伊弉諾尊と伊弉冉尊の夫婦神を祀る、兵庫県で唯一「神宮號」を宣下された神社。国生みから始まるすべての神功を遂げられた伊弉諾尊が、多賀の地に幽宮を構えて余生を過ごされたと伝えられています。

■ 淡路市多賀740 TEL.0799-80-5001 <https://izanagi-jingu.jp/>



沼島 【ぬしま】

淡路島の南に浮かぶ周囲約10kmの勾玉の形をした島で「おのころ島」伝承地の一つ。高さ約30mの上立神岩は、伊弉諾尊と伊弉冉尊の二柱が巨大な柱の周辺をまわって婚姻をおこなったという「天の御柱」ともいわれています。

■ 南あわじ市観光案内所 TEL.0799-52-2336  
<http://nushima-yoshijin.jp/>



絵島 【えしま】

淡路島の北端に浮かぶ島で、「国生み神話」に登場する「おのころ島」伝承地の1つとされています。元は陸地に続いていたものが波浪の作用により現在の島になりました。古くから月見の名所としても有名です。

■ 岩屋観光案内所 TEL.0799-72-3420



五斗長垣内遺跡 【ごっさかいといせき】

弥生時代後期に鉄器づくりを行っていたとされる国史跡指定の遺跡です。鉄が貴重であった時代にこれほど多くの鍛冶工房が発見された遺跡は少なく、当時の社会の様子を知ることができる貴重な遺跡だとされています。

■ 淡路市黒谷1395-3 TEL.0799-70-4217  
<https://gossa-awaji.jp/remains/>



松帆銅鐸 【まつほどうたく】

2015年に松帆地区から採取された土砂中より7点が発見されました。最も古い段階の菱環鈕式1点のほか、他の6点も全てが紀元前の弥生時代につくられたものとされています。

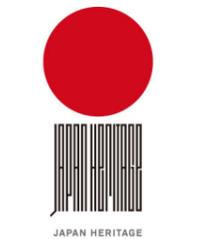
■ 滝川記念美術館玉青館  
 南あわじ市松帆西路1137-1  
 TEL.0799-36-2314

## 高田屋嘉兵衛と北前船

【たかたやかへえときたまへぶね】

高田屋嘉兵衛は、1769年に現在の洲本市五色町都志で貧しい農家の長男として生まれ、のちに北前船の船頭になり、函館を拠点として商売をはじめ、函館の発展や安全な航路や新たな漁場を開くなど北方の開拓者として活躍しました。大坂を出発して、瀬戸内海を経て、北海道へ至る廻船ルート「北前船寄港地・船主集落」が2017年、日本遺産に認定されました。洲本市は、寄港地ではないものの、北前船で活躍した高田屋嘉兵衛の生誕地として2018年に追加認定されました。

■ 高田屋顕彰館  
 洲本市五色町都志1087  
 TEL.0799-33-0354





### 淡路人形浄瑠璃【あわじにんぎょうじょうるり】

淡路人形浄瑠璃は、約500年前に摂津西宮の百太夫という傀儡師が三條村(現 南あわじ市三條)に来て人形操りを教えたのが始まりと伝えられています。

江戸時代初期から昭和初期まで大小様々な人形座があり、島内だけでなく全国を興業して人形浄瑠璃の魅力を伝えていました。大阪文楽の始祖・植村文楽軒も淡路島出身です。

人々に親しまれた淡路人形浄瑠璃も1950年頃には急速に姿を消していきました。現在は、南あわじ市福良の淡路人形座にて、哀歎の人間模様を生き生きと描いた舞台を鑑賞できます。

■淡路人形座  
南あわじ市福良甲1528-1地先 TEL.0799-52-0260  
<https://awajiningyoza.com/>



### 洲本城【すもとじょう】

洲本城跡は、市街地の南にそびえる標高133mの三熊山山上にあり、戦国時代から江戸時代にかけて淡路国統治の拠点となった城で、現在は往時をしのぶ石垣が残っています。城郭は戦国時代の様式をよく表しており、保存状態も良く、国の指定史跡、兵庫県指定の文化財でもあります。

■淡路島観光協会 TEL.0799-25-5820 (洲本観光案内所)



### 壇尻【だんじり】

春・秋に行われるお祭では、壇尻が繰り出されます。壇尻には、煌びやかな装飾が施された布団壇尻、船の形をした船壇尻、勇壮な投げ壇尻に違い壇尻など、多様な壇尻が見られます。



### 先山千光寺【せんざんせんこうじ】

標高448mの先山は、国生みの際に最初にできた山だと伝えられる。その頂上につくられた古刹千光寺は、大猪に化身した観音菩薩に導かれた狩人が開基したという不思議な縁起が伝わる。境内の梵鐘は「国の重要文化財」に指定されています。

■洲本市上内膳2132 TEL.0799-22-0281



### 淡路島七福神めぐり

七福神とは、大黒天、寿老人、毘沙門天、恵美酒太神、布袋尊、福祿寿、弁財天の7つの神のことで、淡路島を七福神が乗る宝舟に見立てて、島内各所にあるお寺を参拝して巡る、淡路島七福神めぐりでは、各寺院で御祈願・法話を受けることができ、すべてのお寺を参拝すると幸福が訪れるといわれています。

■(大黒天) 八淨寺 TEL.0799-65-0026  
■(寿老人) 宝生寺 TEL.0799-62-2905  
■(毘沙門天) 覚住寺 TEL.0799-42-0436  
■(恵美酒太神) 萬福寺 TEL.0799-54-0244  
■(布袋尊) 護国寺 TEL.0799-54-0259  
■(福祿寿) 長林寺 TEL.0799-33-0121  
■(弁財天) 智禅寺 TEL.0799-86-1472



### 東山寺【とうざんじ】

820年に弘法大師により創建されたといわれる古刹。島内では数少ない紅葉の名所。国の重要文化財の薬師如来立像や十二神将立像が所蔵されています。

■淡路市長澤1389 TEL.0799-64-1185



### 蓮花寺【れんげじ】

1332年に建立されたお寺で、1784年に実如和尚によってつくり始められた約530体もの像が立ち並ぶ「五百羅漢」が有名です。

■洲本市安乎町宮野原460 TEL.0799-28-0133



### 淡路国分寺【あわじこくぶんじ】

奈良時代に聖武天皇によって国家鎮護のために各国に建立された国分寺のひとつ。塔跡と本尊の釈迦如来坐像は国の重要文化財に指定されています。

■南あわじ市八木国分331 TEL.0799-42-4773



### 本福寺水御堂【ほんぶくじみずみどう】

平安時代後期に建立されたといわれる真言宗御室派の寺院で淡路四国第五十九番霊場。モダンな外観の水御堂は、世界的現代建築家安藤忠雄氏の設計によるもの。大賀ハスやスイレンが咲く人工池や本尊薬師如来像も見どころです。

■淡路市浦1310 TEL.0799-74-3624

# 3 自然・花



## 大鳴門橋と渦潮 【おおなるときょう うずしお】

鳴門海峡の渦潮は、約6時間毎に起こる潮の干満と、鳴門海峡の速い潮流、そして海底の地形によって生じる自然現象です。潮流時速20km、うずの大きさは直径30mに達する事もあり、世界最大といわれています。渦潮が最も大きくなる干潮・満潮の時刻は、日によって変化するので、観潮に行く際には、事前に潮見表などで、渦潮の発生する時間帯を確認しておく必要があります。



## うずしおクルーズ

日本の船として初めて太平洋を横断した蒸気帆船・威臨丸をモデルに復元した大型遊覧船「威臨丸」で、「うずしお」を間近に見ることが出来る約1時間のクルーズです。

■南あわじ市福良甲1528-4 道の駅福良  
TEL.0799-52-0054  
<https://www.uzu-shio.com/>



## 淡路島国営明石海峡公園

立体的にデザインされた関西最大級の花壇が見どころ。2000年に開催された「淡路花博ジャパンフローラ2000」の会場でもあり、四季を通じて多くの花々が楽しめる。年間を通して様々なイベントも催され、特に春のチューリップやムスカリなどの球根植物が織り成す一面の花壇は圧巻。大規模花壇だけでなく、他では見ることの出来ない珍しい花が傍に咲く散策路など、様々な形で花が楽しめる。

■淡路市夢舞台8-10 TEL.0799-72-2000 <https://awaji-kaikyopark.jp/>



## 県立公園 あわじ花さじき

なだらかに広がる高原に約15haの花畑が広がり、明石海峡・大阪湾をバックに花の大パノラマを展開。季節毎に愛らしい花々が夢の世界に誘う極上の見物席です。

■淡路市楠本2805-7 TEL.0799-74-6426  
<https://www.hyogo-park.or.jp/sp/hanasajiki/>



## 淡路ファームパーク イングランドの丘

珍しい南方系コアラが暮らしているグリーンヒルエリアと、イギリスの湖水地方の風景が広がるイングランドエリアに分かれており、手作り体験教室、菜園での収穫体験、小動物とのふれあいや季節の花々などを楽しめます。

■南あわじ市八木養宜上1401 TEL.0799-43-2626  
<https://www.England-hill.com/>



## 灘黒岩水仙郷 【なだくろいわすいせんきょう】

論鶴羽山の斜面一面に日本水仙が咲き誇る景色は圧巻。辺りには水仙の優しく甘い香りが漂う冬の風物詩です。

※リニューアル工事のため休園中(令和5年12月オープン予定)

■南あわじ市灘黒岩2  
TEL.0799-43-5221 (南あわじ市 商工観光課)



## 兵庫県立淡路夢舞台公園温室「あわじグリーン館」

植物の生きる姿を活かした立体的な展示が魅力の日本最大級の温室。世界のダイナミックな植物や希少な植物が楽しめるほか、ジュラシックツリーや高さ8mのガーデンキャッスルなど家族で楽しめる展示が満載!

■淡路市夢舞台4 TEL.0799-74-1200  
<https://awaji-botanicalgarden.com>



## パルシェ香りの館

四季の草花が植えられた丘の上からの景観は見もの。フクシアの花が咲き誇る大温室や、キャンドル・香水づくりなど香りの体験コーナーなどがあり、季節に応じてハーブの摘み取り体験も行われています。

■淡路市尾崎3025-1 TEL.0799-85-1162  
<https://www.parchez.co.jp/>



## 鮎屋の滝 【あいやのたき】

霊験の場として崇められている、淡路島随一の滝です。周囲は激しい水音に包まれ、滝に降り注ぐ木漏れ日も神秘的な気配を漂わせています。遊歩道で滝のすぐ近くまで行くことができ、初夏には、ホタルも楽しめます。

■洲本市商工観光課 TEL.0799-22-3321

# 4 アクティビティ・レジャー



© 2021, 2023 ARMOR PROJECT/BIRD STUDIO/SQUARE ENIX All Rights Reserved.



TM & © TOHO CO., LTD.



©岸本齊史 スコット/集英社・テレビ東京・びえろ



©臼井儀人/双葉社・シンエイ・テレビ朝日・ADK

## 兵庫県立淡路島公園アニメパーク ニジゲンノモリ

東京ドーム約28個分の敷地面積を誇る「兵庫県立淡路島公園」内に、豊かな自然、日本の漫画、アニメ、ゲームコンテンツの世界感を最新テクノロジーと融合させたアニメパーク「ニジゲンノモリ」。自然の中で体を動かしながら、2次元の世界を全身で感じる事ができる全く新しい「体験」をお届けします。

■淡路市楠本2425-2 TEL.0799-64-7061  
<https://nijigennomori.com/>



## うずの丘大鳴門橋記念館・ うずしお科学館

うずしおを学べるうずしお科学館。素晴らしい景観と島のごちそうを堪能できる絶景レストラン。たまねぎキャッチャーや巨大オブジェもあり、1階ではバーガーグランプリ1位を受賞した話題の淡路島バーガーも販売。

■うずの丘大鳴門橋記念館・うずしお科学館  
南あわじ市福良丙936-3 TEL.0799-52-2888  
<https://kinen.uzunokuni.com/>



#おっ玉葱



淡路ワールドパーク ONOKORO  
世界各国の有名建築物を1/25サイズで表現したミニチュアワールド、人気のジップラインやゴカート、芝滑りなどのアトラクションが楽しめるテーマパーク。クラブ体験も充実しており、大人から子供まで楽しめます。  
■淡路市塩田新島8-5 TEL.0799-62-1192  
<https://www.onokoro.jp/>



淡路じゃのひれ  
アウトドアリゾート  
イルカの生態やすばらしい能力を体感でき、イルカとふれあうことで共生や環境保護の大切さが学べます。シーカヤックやSUP、フィッシングも体験できます。  
■南あわじ市阿万塩屋町2660 TEL.0799-52-1487



淡路島モンキーセンター  
野生のニホンザルを間近で見られる公園。サルは性格はおとなしく、仲の良い円満なサル社会をのぞくことができます。秋は山奥にエサの木の実が多く実るため、公園には現れません。  
■洲本市畑田組289 TEL.0799-29-0112  
<https://monkey-center.jp/>



サイクリング  
自転車で淡路島一周する通称「アワイチ」が人気で、スポーツサイクルからシティサイクルまで様々な自転車を見かけます。サイクリングで、淡路島の自然をゆったりと感じてみませんか。  
■(一社)淡路島観光協会 TEL.0799-22-0742  
<https://www.awajishima-kanko.jp/cycling/>



海水浴  
淡路島内には、水質の良い海水浴場が多く存在し、夏には大勢の海水浴客で賑わいます。  
■(一社)淡路島観光協会 TEL.0799-22-0742



お香作り体験  
お香の色の粉を選び、香料を加えて練り、出来上がった生地を薄くのばして型抜きを使い、色々な形を作ることができます。小さな子どもから、高齢の方まで楽しめます！  
■薫寿堂  
淡路市多賀1255-1 TEL.0799-85-1301  
<https://www.kunjudo.co.jp/>



乗馬  
馬に乗ったことがなくても曳き馬で様々なコースを散歩することができます。淡路島の海や山、大自然を感じながら馬の背に揺られお散歩しませんか。夏限定で、馬に乗ったまま海へ入る『海泳ぎ』は島ならではのコースです。  
■ハーモニーファーム淡路  
淡路市浦2400-2 TEL.0799-75-3555  
<http://hf-awaji.com/>



ウミホテル  
幻想的な青い光を放つウミホテルは、淡路島各所で見ることができます。なかでも、南あわじ市にある阿万海岸は、日本でも数少ないウミホテルの生息地として有名です。  
■(一社)淡路島観光協会 TEL.0799-22-0742



パラセーリング  
開放感バツグンの空中散歩は鳥になったような爽快感とスリルが実感できる！船上から離着するので濡れる心配がなく普段着でも楽しめます。  
■シームンリゾート 洲本市安平町安浦1970-6  
TEL.0799-24-4455 <http://seamoonresort.jp/>



釣り  
海に囲まれた淡路島は、釣りも盛ん！海上釣り堀や海釣り公園では、手ぶらで行っても釣りが楽しむことができます。  
■(一社)淡路島観光協会 TEL.0799-22-0742



瓦割り  
誰でも空手家気分になりきって、瓦割りができます。割れやすいように特別につくられた瓦で、女性や子供でも割ることができます。みんなで盛り上がる体験です！  
■カラテカワラ 南あわじ市津井1764  
TEL.0799-38-0362 <https://karatekawara.com/>



禅坊靖寧【ぜんぼうせいねい】  
東経135度、子午線上に浮き上がった100mの木造建築物、心を整えるZENリトリート施設「禅坊靖寧」。瞑想をはじめ、書、茶などを組み合わせたZENウェルネス体験と禅坊料理を楽しめます。  
■禅坊靖寧  
淡路市楠本字場中2594-5 TEL.0799-70-9087  
<https://zenbo-seinei.com/>



# 5 グルメ



## 淡路ビーフ

世界に誇る和牛ブランドの“神戸牛”や“松阪牛”は、淡路島産但馬牛をルーツとするものが多く、その淡路島産但馬牛のうち厳しい認定基準を満たしたもののみ『淡路ビーフ』と呼べるようになります。肉質は柔らかく上品な旨味があり、細かく入ったサシは、人の体温でも溶けるのが特徴です。



## 淡路島たまねぎ

淡路島たまねぎは、他産地と比べて甘くて柔らかいことが特徴。秋に植えられた玉ねぎは、冬を経て6～8ヶ月後の春に収穫されます。淡路島の温暖な気候と肥沃な土壌のもと、じっくり生育し栄養分をしっかりとため込んだ玉ねぎは、収穫後に自然風を利用してゆっくり乾燥熟成させることで甘みが増します。



## 淡路島3年とらふぐ

養殖のふぐは、通常2年で出荷される場所、生存率の下がるリスクを負いながら1年長く大切に育てられた淡路島3年とらふぐ。そのサイズと肉質は、身もしまり歯ごたえが抜群に良く味が濃厚です。



## 淡路島牛丼

3つの淡路産食材、“淡路産の牛肉”“淡路島たまねぎ”“淡路米”を使って作られた、子供から大人まで多くの方々に好まれるこだわりの牛丼。

■ <https://www.awa-gyu.net/>



## 淡路島の生サワラ丼

足が早い為、食べる機会が少なかった生のサワラを、淡路島でしか食べられない丼スタイルにした「漁師めし」。

■ <https://awajishima-namasawara.com>



## えびす鯛 [えびすだい]

明石海峡や鳴門海峡の急流にもまれて育った淡路島のえびす鯛は、身が分厚くよくしまつて食べ応え抜群。鯛本来の上品で淡泊な味わいをいかす活き造りや、那智黒石を敷き詰めた宝楽鍋で蒸し焼きにした“宝楽焼き”などが有名です。



## 淡路島ぬーどる

伝統産業の淡路手延素麺から生まれたオリジナル麺と、淡路島産のたまねぎを必ず使用し、季節の魚介類や、地元野菜、鶏、猪豚・淡路牛等の多彩な食材を組み合わせた麺料理。

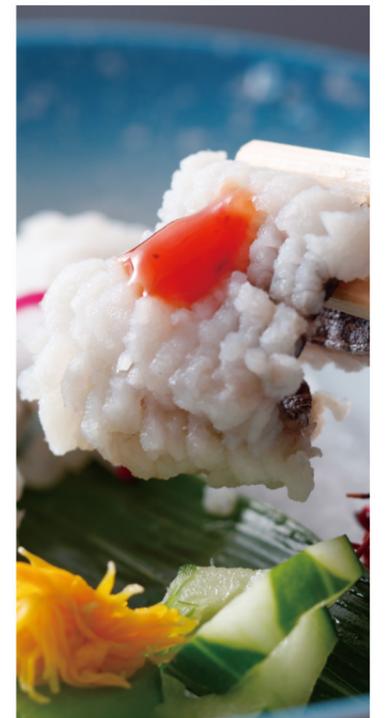
■ <https://www.miketsukuni-awaji.jp/noodle/>



## 島スイーツ

島の自然に育まれた新鮮な食材をふんだんに使ったオリジナリティ溢れるスイーツ。島のパティシエがつくるスイーツは「この島で育ち、この島で作る」から美味しい。

■ <https://www.miketsukuni-awaji.jp/sweets/>



## 鱧 [はも]

淡路島の鱧は、「はも延縄」と呼ばれる漁法で一匹一匹丁寧に釣り上げること、傷が少なく美しく、身は太り脂がのってひととき美味しいのが特徴。旬のハモとたまねぎを使った「はもすき鍋」は淡路島の代表的な郷土料理のひとつです。



## 淡路島の生しらす

淡路島岩屋港で水揚げされた鮮度抜群の生しらす。淡路島の生しらすは、全国漁業連合会より兵庫県プライドフィッシュに認定された日本のオンリーワン商品です。

■ <https://www.awajishima-namashirasu.com/>



## 淡路島バーガー

「淡路島バーガー」は、淡路の自然が育んだ美味しさがギュッと詰まったバーガー。自然や食の豊かさを五感で感じて、淡路をまるごと味わってみてください。

■ <https://awajishima-burger.com/>

# 6 温泉・お土産



## 美湯 松帆の郷

【びゅうまつほのさと】

世界最大級の吊り橋明石海峡大橋を眺めながらの展望露天風呂が人気の温泉リゾート。単純弱ラドンの泉質は、神経痛・冷え性・高血圧症などの効能があります。

■ 淡路市岩屋3570-77  
TEL.0799-73-2333  
<http://matsuho.com>



## 休暇村南淡路

大きなガラス窓のある展望大浴場と鳴門海峡を一望でき、自然との一体感を体感できるインフィニティ構造の露天風呂があります。

■ 南あわじ市福良丙870-1 TEL.0799-52-0291  
<https://www.qkamura.or.jp/awaji/>



## アクアイグニス淡路島

保温効果の高い泉質の大浴場や、水着着用で入れる大阪湾を一望できる外湯があります。

■ 淡路市夢舞台2-28 TEL.0799-73-6602  
<https://www.aquaignis-awaji.jp/>



## 五色温泉 ゆ〜ゆ〜ファイブ

洋風・和風・各十種類の浴槽が有り、薬湯・香料風呂を週替わりで楽しめます。

■ 洲本市五色町都志1087 TEL.0799-33-1601  
<http://www.takataya.jp/relax/you.htm>



## 洲本温泉 【すもとおんせん】

洲本城の城下に広がる淡路島最大の温泉地。海岸線に沿って並ぶ温泉街には、海を見渡す露天風呂など趣ある温泉を備えた宿が並びます。アルカリ性単純温泉の泉質は、疲労回復・冷え性・神経痛などに効能があります。洲本八幡神社横に、洲本温泉うるおいの湯足湯がありますので、ご利用下さい(無料)。

■ 洲本温泉事業協同組合 TEL.0799-22-3158

## 南あわじ温泉郷 【みなみあわじおんせんきょう】

うずしお温泉・南淡温泉・潮崎温泉・三原温泉・サンライズ温泉・南あわじ温泉の6つの泉源を有する温泉郷。リフレッシュ効果や美肌効果など、それぞれ特徴ある泉質が楽しめます。4つの入浴施設の他、南あわじ市内の旅館・ホテル・民宿でそれぞれの温泉に入ることができます。

道の駅福良に足湯がございます。無料で利用できますので、ご利用下さい。

■ <http://minamiawaji-onsen.com/>



## 地酒・地びーる

現在、淡路島の造り酒屋は2軒ですが、大量生産では決して味わうことのできない昔ながらの手法にこだわった、手間ひま掛けて作られているお酒です。最近では島内唯一のクラフトビール「あわぢびーる」も人気があります。

■ 千年一酒造 <http://www.sennenichi.co.jp/>  
■ 都美人酒造 <http://www.miyakobijin.co.jp/>  
■ あわぢびーる <https://awajibrewery.com/>



## いかなごのくぎ煮

イカナゴの稚魚を醤油・砂糖などと一緒に甘辛く炊き上げた「いかなごの釘煮」は、お土産物としても人気。



## 淡路島の藻塩

淡路島では、かつて御食国として朝廷へ「塩」を納めていました。現在も手間暇をかけた丹念に作られている藻塩には、海水と海藻の旨みがたっぷり含まれています。

■ 淡路島の藻塩 <https://www.e-moshio.com/>



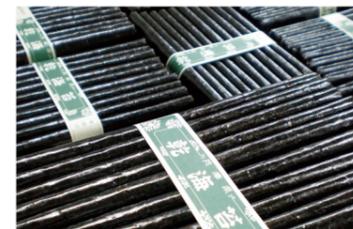
## 淡路島なるとオレンジ

淡路島でしか栽培されていない果実。昔は、島のお土産といえば鳴門オレンジでした。しかし、その後生産者が減ったことにより生産量が落ち込み存続を危ぶまれていましたが、2018年「淡路島なるとオレンジ」と改称して、改めてPRを始めました。



## 淡路手延素麺

約180年の歴史をもつ淡路手延素麺は、1915年のサンフランシスコ万博で金賞を受賞するなど、各地の品評会で度々受賞。昔ながらのこだわりの製法で作られ、豊かな風味と独特の歯ごたえが特徴です。



## 海苔

淡路島の海苔養殖は、全国でも有数の生産量を誇ります。香りがよく、旨味が多くてパリッとしているうえに破れにくいのが特徴です。



## オニオンスープ

淡路島玉ねぎが持つ「コクと甘味と旨み」をそのまま活かし、風味豊かな顆粒状にした淡路島土産の定番。



## 淡路瓦

400年の歴史を持つ「淡路瓦」は、日本三大瓦の一つ。匠の技術は先人から子孫へと受け継がれ、知恵と美意識に磨かれた瓦の形状は、実に数千種類にもおよびます。

■ 淡路瓦工業組合 <http://www.a-kawara.jp/>



## ちりめん

淡路島近海で獲れるシラスは色が白く最高級とされる「カタクテイワシ」を厳選。半生、もしくはよく乾燥させたシラスは「ちりめん」として淡路島を代表する海産物です。



## 淡路島牛乳

淡路島の牛乳は、しぼりたてを新鮮なままパッケージしています。成分無調整のコクのある自然なまろやかさと濃厚な味わいが好評で、多くのファンに愛されています。

■ 淡路島牛乳 <https://awajishima-milk.jp/>



## 線香

線香の日本国内生産の70%が淡路産。卓越した技術力とアイデアで最高品質の線香を生産し日本の香り文化をリードしています。

■ あわじ島の香司 <http://awaji-kohshi.com/>



## 吹き戻し

「吹き戻し」とは、口にくわえて吹くと巻いた紙が、スルスルと伸びた後、先からクルクルと戻ってくる、伝統的なおもちゃ。日本で唯一「吹き戻し」の製作体験ができる施設です。

■ 吹き戻しの里 淡路市河内333-1  
TEL.0799-74-3560 <https://www.fukimodosi.org/>